

平成27年11月28日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

甲斐市教育委員会は本日、甲斐市立竜王南小学校でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生があった旨、自主公表を行いました。

なお、今シーズン(H27.9.1～H28.8.31)において県が探知した感染性胃腸炎の集団発生(原則として10名以上)の初回の事例となります。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	0件	0名
	小学校	1件	54名
	高齢者福祉施設	0件	0名
	その他	0件	0名
	合計	1件	54名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 5件 140名(確定値)
(初発は11/17～)

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、
塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年1月8日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3511~3515)

報道関係者各位

高齢者入所施設における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年1月7日(木)、中北保健所管内の高齢者入所施設において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	高齢者入所施設		
発症者の状況	利用者	9名	(70歳代～90歳代男女)
	職員	1名	(30歳代女性)
	計	10名	

主な症状:嘔吐、下痢

発症状況

	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	計
利用者	1	0	3	3	2	0	9
職員	0	0	0	1	0	0	1

(発症者は全員快方に向かっています)

調査・指導結果

発症者のうち5名(利用者4名、職員1名)の検便を実施したところ、全員からノロウイルスが検出された。

中北保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、利用者・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年1月8日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、高齢者入所施設でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	0 件	0 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者福祉施設	1 件	10 名
	その他	0 件	0 名
	合計	2 件	159 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 (初発は11/17～)	11 件	271 名(確定値)
--	------	------------

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年1月15日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3512~3515)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年1月13日(水)、中北保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所
発症者の状況	園児 26名 (0歳児クラス~5歳児クラス男女)
	職員 0名
	計 26名

主な症状:下痢、嘔吐

発症状況

	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	計
園児	1	0	1	0	0	1	2	3	5	0	6	4	2	1	26

(発症者は全員軽症で快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者9名の検便を実施したところ、8名からノロウイルスが検出された。
中北保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年1月15日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、保育所でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	1 件	26 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者福祉施設	1 件	10 名
	その他	0 件	0 名
	合計	3 件	185 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 12 件 294 名(確定値)
(初発は11/17～)

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、
塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年1月19日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3512~3515)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年1月18日(月)、中北保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所
発症者の状況	園児 11名 (0歳、1歳、4歳、6歳の男女)
	職員 2名
	計 13名

主な症状: 下痢、嘔吐

発症状況

	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	計
園児	4	4	1	1	0	1	11
職員	0	1	1	0	0	0	2

(発症者は全員軽症で快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者8名の検便を実施したところ、7名からノロウイルスが検出された。
中北保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年1月19日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、保育所でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	2 件	39 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者福祉施設	1 件	10 名
	その他	0 件	0 名
	合計	4 件	198 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 12 件 294 名(確定値)
(初発は11/17～)

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、
塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年1月29日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3512~3515)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年1月28日(木)、中北保健所峡北支所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所	
発症者の状況	園児	28名 (0歳児クラス~4歳児クラス男女)
	職員	0名
	計	28名

主な症状:嘔吐

発症状況

	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	計
園児	1	2	3	1	2	1	2	11	3	2	28

(発症者は全員軽症で快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者6名の検便を実施したところ、6名からノロウイルスが検出された。
中北保健所峡北支所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年1月29日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、保育所でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	3 件	67 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者福祉施設	1 件	10 名
	その他	0 件	0 名
	合計	5 件	226 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 14 件 371 名(確定値)
(初発は11/17～)

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年2月5日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3512~3515)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年2月3日(水)、中北保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所	
発症者の状況	園児	36名 (0歳児クラス~5歳児クラス男女)
	職員	0名
	計	36名

主な症状:嘔吐、下痢

発症状況

	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	計
園児	1	3	11	4	2	9	4	0	2	36

(発症者は全員軽症で快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者4名の検便を実施したところ、4名からノロウイルスが検出された。
中北保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年2月5日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、保育所でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	4 件	103 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者福祉施設	1 件	10 名
	その他	0 件	0 名
	合計	6 件	262 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 14 件 371 名(確定値)
(初発は11/17～)

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、
塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年2月15日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3511~3515)

報道関係者各位

高齢者介護施設における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年2月8日(月)、富士・東部保健所管内の高齢者介護施設において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別 高齢者介護施設

発症者の状況

利用者	24名(70~100歳代男女)
職員	6名(20~50歳代男女)
計	30名

主な症状:下痢、嘔吐

発症状況

	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	計
利用者	1	0	0	4	5	4	4	3	2	1	24
職員	0	0	0	0	0	2	1	2	0	1	6

(発症者は全員快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者10名の検便を実施したところ、6名からノロウイルスが検出された。
富士・東部保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、利用者・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年2月15日
山梨県福祉保健部 健康増進課
感染症担当
055-223-1494(内線3511～3515)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、高齢者介護施設でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
	保育所・幼稚園等	4 件	103 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者介護施設	2 件	40 名
	その他	0 件	0 名
	合計	7 件	292 名

現時点での暫定値となります。

[参考]平成26年～27年シーズン同時期の状況 (初発は11/17～)	14 件	371 名(確定値)
--	------	------------

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、
塩素系消毒剤で消毒をする。
食品は十分に加熱する(85～90 90秒以上)。
生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85 以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>

平成28年6月10日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 小林早苗
電話 055-223-1494
(内線3502、3511~3514)

報道関係者各位

幼稚園における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年6月9日(木)、中北保健所管内の幼稚園において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

○施設の種別	幼稚園		
○発症者の状況	園児	14名	(3歳～6歳男女)
	職員	2名	(20歳代女性)
	計	16名	

※主な症状:嘔吐、下痢、腹痛、発熱

○発症状況

	6/6	6/7	6/8	6/9	計
園児	1	7	4	2	14
職員	0	0	2	0	2

(発症者は全員快方に向かっております)

○調査・指導結果

発症者3名(園児3名)の検便を実施したところ、全員からノロウイルスが検出された。中北保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、2次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年6月10日
山梨県福祉保健部 健康増進課
衛生指導監 小林 早苗
055-223-1494(内線3502、3511～3514)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、幼稚園でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数(※)
	保育所・幼稚園等	5 件	119 名
	小学校	1 件	149 名
	高齢者介護施設	2 件	40 名
	その他	1 件	20 名
	合計	9 件	328 名

※現時点での暫定値となります。

※件数・患者数は今回の事例を含んでいます。

【参考】平成26年～27年シーズン同時期の状況 14 件 371 名(確定値)
(初発は11/17～)

○ ノロウイルスの感染予防口

- ① トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
- ② 患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、塩素系消毒剤で消毒をする。
- ③ 食品は十分に加熱する(85～90℃ 90秒以上)。
- ④ 生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。
- ⑤ 調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85℃以上)で1分以上加熱する。

○ 健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>